

奈良医大 Nara Medical University newsletter

キャンパスだより

2016
vol.3
春号

奈良県立医科大学に関する様々な情報を、地域のみなさまにお届けします



Contents

- ・「奈良県立医科大学の将来像」の策定について、古家附属病院長に聞きました

Topics

- ・公開講座「くらしと医学」を開催しています
- ・キャンパス整備に向けた取り組み

イベントなどのお知らせ

- ・公開講座
- ・玉井進記念四肢外傷センターが設立されました

「奈良県立医科大学の将来像」の策定について、古家附属病院長に聞きました

本学の新旧キャンパス整備に向け、現在県と共同で、教育、研究、診療の分野ごとに本学が目指すべき将来像の策定を進めています。

この度、その中間取りまとめを行ったので、今号では地域住民の皆様にも関係の深い診療の将来像について、古家附属病院長がインタビューに答え、紹介をいたします。



古家附属病院長

診療の理念として「患者と心が通い合う人間味あふれる医療人を育成し、地域との緊密な連携のもとで奈良県民を守る最終ディフェンスライン」と宣言されています。

最終ディフェンスラインとなり、安全で安心できる最善の医療を提供します」と宣言されていますが、『奈良県民を守る最終ディフェンスライン』とはどういう意味ですか。

古家病院長 昭和20年の本学創立以来、大学附属病院として県民の健康を守ってまいりましたが、救急医療の受け入れ体制など万全とは言えない面もありました。そこで、今般、救急医療をはじめ診療部門全体が目指すべき将来像として、県民の皆様や県内医療機関に真の安全・安心を提供する『最終ディフェンスライン』となることを改めて宣言し、その実現に向けあらゆる取組を進めることにしました。

具体的にどのような取組をされるのですか。

古家病院長 あらゆる疾患への対応や先端医療の提供はもちろん、ER救急の整備やドクターヘリの活

用といった救急医療体制の強化などあらゆる面で地域の皆様に安心いただけるよう努めていきたいと思っております。

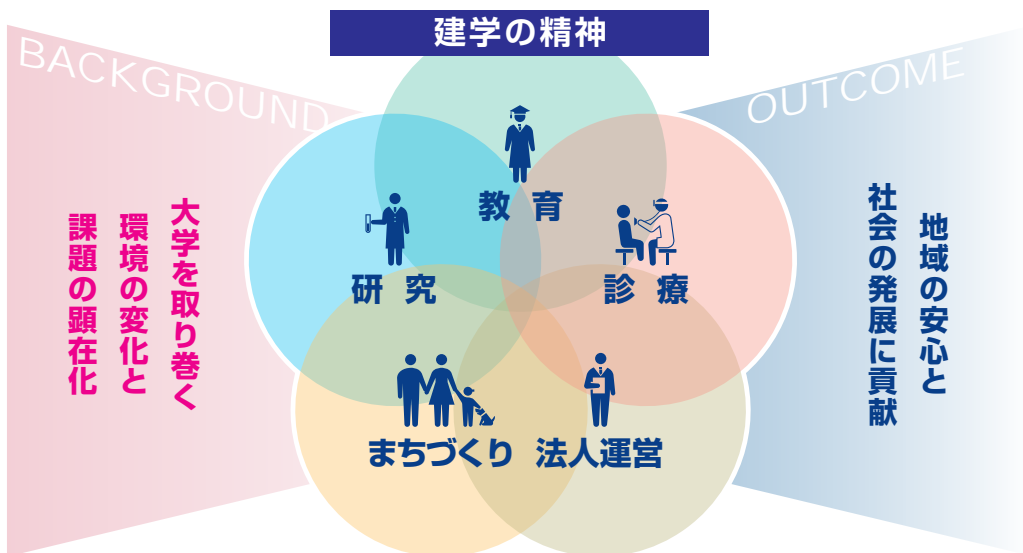
ER救急とは具体的にはどのような仕組みなのでしょう。

古家病院長 特徴は、全ての救急患者を受け入れ、ERドクターによって診断と初期治療を行い、必要があれば各専門科に紹介するというシステムです。奈良医大では、現在試行的にER救急を実施していますが、将来的には、365日24時間稼働のERセンターを目指し、体制整備を進めていく予定です。

その他に重視する取り組みはありますか。

古家病院長 5疾病（がん・脳卒中・急性心筋梗塞・糖尿病・精神疾患）に着実に対応していくほか、超高齢社会に対応する地域包括ケアシステムなど各領域の担い手となる医療人を育成し、地域医療の向上にも積極的に貢献していきたいと思っております。

なるほどよくわかりました。そのような取組を進めていただくと、地域住民の皆様も安心して生活できますね。ありがとうございました。



「奈良県立医科大学の将来像」策定の考え方と構成イメージ

公開講座「くらしと医学」を開催しています

本学の地域貢献の一環として、本学の教員が、医学、看護学等、専門領域での研究成果や病気にまつわる話題等をわかりやすく解説し、県民の皆様へ健康の維持・増進や日々の生活に役立てていただくことを目的に年2回(概ね9月と2月)開催しています。今回は、平成28年2月20日(土)奈良県文化会館 国際ホールにおいて、平成27年度後期公開講座を開催し、以下三題の講演を行いました。



「大腸がん検診を毎年受けましょう」

消化器・総合外科学 教授 中島祥介

大腸がんは、以下の2点を心掛けることが非常に重要です。

- ①大腸がんにならないようにする、予防する。
- ②大腸がんになっても、早期に見つけて、楽な方法で完全に治す。

大腸がんになつ

たとしても、早く治療を開始することが重要ですが、本学では死因の多くを占める肝転移に対しましても、決して諦めることなく、外科的切除を中心とした集学的治療に取り組んでおりますので、何なりとご相談いただければと思います。



生理学第一講座 教授 齋藤 康彦

「目はどうして動くのか」「目を動かすメカニズムについて」

わたしたちは、五感のうち8割以上は視覚を使って知覚しています。眼球運動は筋肉を使った運動ですので、鍛えれば筋肉の衰えを防ぐことができます。目を動かすことは集中力や理解力、さらには記憶力を鍛えるのに適していると考えられています。皆さん、目をどんどん動かして脳を健康にしてみてくださいか。

奈良県立医科大学の「新生児医療のあゆみ」

総合周産期母子医療センター 教授 高橋 幸博

総合周産期母子医療センターは平成28年秋には新しいE棟棟4階へ移転し、より充実した環境に整備されます。今後には是非ご期待ください。

キャンパス整備に向けた取り組み

将来像の策定と並行して、教育・研究部門の新キャンパスへの移転、現キャンパスでの病院施設整備に向けた準備を進めています。

【28年度の取り組み】

新キャンパス

(現農業研究開発センター)

- ・埋蔵文化財試掘調査
- ・キャンパス用地として利用するため、埋蔵文化財の調査を行います。
- ・用地取得
- ・不整形な敷地を拡張して有効活用するため、隣接地を取得します。

現キャンパス

・附属病院E棟整備

・病院施設整備の一環として、周産期医療、がん治療、手術等の充実のため現在整備中のE棟の竣工と今秋全面オープンを行います。

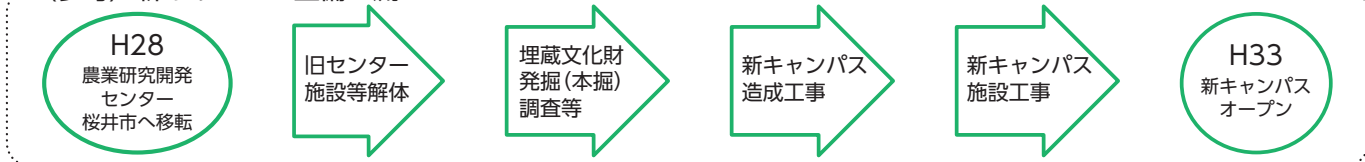
・附属病院A棟改修設計

・本格整備までの間、老朽化した臨床医学研究棟の機能をA棟に仮移転するための改修設計を行います。

・ドクターヘリ運航施設整備

・附属病院にヘリポートを設置するための設計・工事を行います。

(参考) 新キャンパス整備の流れ



イベントなどのお知らせ

公開講座

2016年度 奈良県肝臓病撲滅市民公開講座

平成28年7月2日(土) 15:00～17:00

橿原文化会館 小ホール

7月28日の世界肝炎デーに因んで一般の方々に肝臓病についての最新情報を伝え、病気の予防等についてわかりやすく説明いたします。

【講演者】竹田 幸祐 氏(奈良医大内科学第三講座)

上嶋 昌和 氏(奈良医大内科学第三講座)

北出 光輝 氏(奈良医大内科学第三講座)

申込

事前申し込み不要(当日受付)

奈良医大内科学第三講座医局 TEL: 0744-22-3051 (内線: 3415)



(前回チラシ)

奈良県立医科大学公開講座「くらしと医学」

平成28年9月10日(土) 13:00～15:30

橿原文化会館 大ホール

本学では、広く県民の皆様を対象に、健康の維持・増進や日々のくらしに役立てていただくことを目的として、「くらしと医学」をテーマにした公開講座を年2回開催しています。本学教員が、日頃の研究成果や病気にまつわる話題等をわかりやすく解説します。

※講演内容等詳細が決まり次第、下記HPにてお知らせいたします。

申込

事前申し込み不要(当日受付)

奈良医大総務課 公開講座担当 TEL: 0744-22-3051 (内線: 2206・2297)



(前回チラシ)

〈公開講座等紹介ホームページ〉

<http://www.named-u.ac.jp/university/gaiyo/kokaikoza/index.html>

上記以外にも、ご参加いただける公開講座等の情報を随時掲載していますので、ぜひご覧ください。

玉井進記念四肢外傷センターが設立されました

本学名誉教授である玉井進が世界で初めて完全切断指の再接着を成功させてから、昨年で50年を迎えました。それにあわせ、平成28年1月1日に玉井教授の名を冠した「玉井進記念四肢外傷センター」を設立しました。

本センターは多くの患者さんのQOLの改善に寄与すると共に、外科学の基礎をなす外傷についての充実した研修の場をより多くの研修医に提供し、将来の外科技術の習得に資することを目的としています。

【外来受付】午前8時～午前11時

※救急搬送は随時対応しております。

詳しくは玉井進記念四肢外傷センター外来まで。



四肢外傷センター外来

「奈良医大キャンパスだより」の内容に関する問い合わせやご意見等ございましたら、右記までご連絡ください。

公立大学法人奈良県立医科大学 総合企画局 総合企画室
〒634-8521 奈良県橿原市四条町 840
TEL 0744-22-3051 (内線 2802, 2803)
Mail kihonkoso@named-u.ac.jp